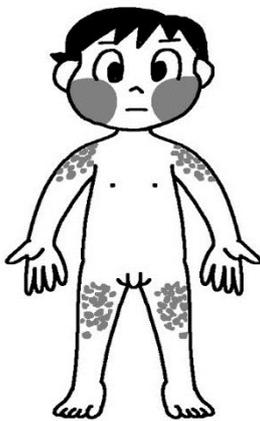


2週間ほど前から、低学年を中心に伝染性紅斑(リンゴ病)に感染する児童が多くなってきました。伝染性紅斑は、発疹出現の前に、咳やくしゃみなどによる飛沫感染を起こすため、発疹の出た人を休ませても感染の拡がりを防止できないなど、予防の難しい病気です。普段から、手洗い・うがい、咳エチケット(咳やくしゃみをするときはティッシュなどで口を押さえる)などをしっかりと行うようにしましょう。

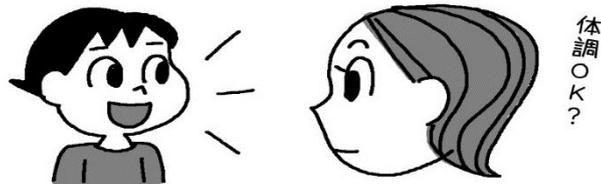
+

伝染性紅斑(リンゴ病) についてのお知らせ

伝染性紅斑(リンゴ病)は、頬がリンゴのように赤くなることから、リンゴ病とよばれます。ヒトパルボウイルスの感染によって起こる病気です。



- +
- +
- +
- +
- +
- +



! 受診の目安

関節痛などが強いときは、診断のために医師の受診が必要です。

! 注意 !

妊婦が発症すると流産や胎児水腫を起こすことがあります。妊婦は体調に注意し、もしも発症した場合には主治医に相談し、胎児の状態をよくみてもらう必要があります。



このほかにも、太田市内では、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)や溶連菌感染症なども数名報告されています。手洗い・うがいをしっかりと、元気に過ごせるようにしましょう。